

学校関係者各位

学校法人未来学舎  
 松本医療福祉専門学校  
 学校長 清水 強  
 (公印省略)

## 令和2年度 自己点検評価報告書の公表について

令和2年度における当校の自己点検評価を行い、結果を報告書としてまとめました。ここに、自己点検評価報告書として公表いたします。今後は、本報告書にある改善事項等を真摯に受け止め、関係各位のご意見及びご指導を賜りつつ、全教職員一丸となって改善や工夫を図り、教育水準の更なる向上を目指して参りたいと思います。今後とも、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 1. 学校の教育目標

本校の建学精神は、学校教育法、社会福祉士及び介護福祉士法に基づき、高等学校における教育の基礎の上に、医療・福祉に関する専門的知識及び技術・技能の教育を行い、医療、保健、福祉の相互理解をすすめ、広く地域社会に貢献し、社会の発展に寄与できる優秀な介護福祉分野と医療秘書分野の専門家を育成することにある。また、学校法人未来学舎の法人理念としての「とことん、いっしょに」を掲げ、学生及びその家族の一人ひとりに対して親身になって支援することを目標としている。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

本年度は以下を重点課題とした。

- ① 募集活動の強化、学科運営の安定化
- ② 業務の効率化
- ③ 各種文書整備

上記対応状況等

本年度はコロナへの対応が重点課題となった。カリキュラム、授業等に対して多大な影響があったが、関係各所の協力も得る中で、職員、学生の協力もあって、影響を最低限におさえることができた。ただし、受け入れ先の制約で、実習、資格試験等についてはいくつが学生の不利益が生じた。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

## (1) 教育理念目標

評価基準：適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	R02
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3

## ①成果と課題

本年度において今までの学校理念、目標等について職員全員で見直しを行い、内容を改善し全員でその結果を共有した。シラバス等の文書整備情報公開は進んでいる。

## ②今後の改善方策

改善内容は年初に配布する「学生の手引き」で学生周知を図ること、及び入学式の日には学校で行う新入生保護者説明会で周知を図っていく。また、在校生の保護者等には文書等で周知を図っていきたい。

**(2) 学校運営**

評価基準：適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	R02
1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか（教務・財務意思決定システム制度は整備されているか）	2
3	学校運営に関する（事業計画、予算編成、教育活動等）に対する評価を結論としてまとめた評価報告書を作成しているか	2
4	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか	2
5	業界や地域社会等の要求に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3

## ①成果と課題

教育活動に関する情報公開はホームページを通じて適正に行われているが、運営方針、運営結果等における文書化は不十分である。

## ②今後の改善方策

気がついた点、身近な点から順次文書化を図っていく。

**(3) 教育活動**

評価基準：適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	R02
1	教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	教育理念・到達目標に沿った学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	3
5	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	2
6	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、手段、スケジュールは適切か）	2
7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
9	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
10	関連分野における業界等との連携において、優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
12	カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか	3
13	学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか	3

## ①成果と課題

カリキュラムについては、定期的に検討を重ね成果も出ているが、本年度はコロナの影響で十分な実習授業が行えなかった。次年度でその不足を補う対策が必要である。

## ②今後の改善方策

本年はコロナにより一部現場実習が行えず、校内演習で代替した。初めてのケースであったので、十分な成果を上げたとは言えない。本年度の不足点を検討し、通常カリキュラムを補っていく。

**(4) 学修成果**

評価基準：適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	R02
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	入学者に対する卒業率はどうか（過去3年間）	3
4	在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか	3
5	教育・訓練および学習等を委託する場合、その目的、要望事項およびそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか	3

## ①成果と課題

両学科とも、高資格の受験学習を通じて、学生の学習力の向上、学習習慣の育成を図ることができている。実習系のカリキュラムについてはコロナ渦でも成果を上げることができる内容等の検討が必要である。不可抗力ではあったが、医療秘書学科2年生について全員に診療報酬請求事務能力試験の受験機会を与えることができなかった点が残念であった。

## ②今後の改善方策

コロナ渦にあっても、最大限の効果を上げることができる、高資格学習、実習授業の方法を構築していく。

**(5) 学生支援**

評価基準：適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	R02
1	進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2

## ①成果と課題

就職率及び関連分野への就職率はほぼ100%を維持できている。学生志向等の変化に伴い、学習面だけでなく、健康面への支援必要性を感じる。

## ②今後の改善方策

両学科とも健康管理は重要度の高い事柄であるので、日ごろの学校生活の中で定期的な指導を心掛けるばかりでなく、その道のプロなどによるスポット的な講義、指導なども取り入れていきたい。特にメンタル面での支援を考えていきたい。

**(6)教育環境**

評価基準：適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	R02
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2
2	防災に対する体制は整備されているか	3
3	自己学習に必要な図書室ないし図書スペースおよびコンピュータ利用できる環境を設置しているか	3
4	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	2

## ①成果と課題

年度末等のタイミングを利用しての点検、検討はできていると考えるが、検討頻度を増やす必要がある。

## ②今後の改善方策

毎週行う教務会の議題としても取り上げていきたい。

**(7)学生の受入れ募集**

評価基準：適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	R02
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学納金は妥当か	4
3	学力の不足や障がいに対する特別な対応をしているか	3

## ①成果と課題

介護系の学生募集が全国的に低迷している中で、当校においても同様の事態となっている。

## ②今後の改善方策

次年度介護福祉学科は募集停止となったが（医療秘書学科は同法人の専門学校未来ビジネスカレッジでの募集）、何かできることがあれば考えていきたい。

**(8)財務**

評価基準：適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	R02
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2
2	予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2
3	財務について会計監査が適正に行われているか	3
4	財務情報公開の体制整備はできているか	3

## ①成果と課題

数年前からの募集低迷が、収支的不安定に影響している。

## ②今後の改善方策

社会人講座の実施を増やすなど、できることを実施していきたい。

**(9) 教育の内部質保障システム**

評価基準：適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	R02
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
4	自己評価結果を公開しているか	3
5	教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか	2
6	評価目標ならびに想定されている評価範囲を整理し、記述できているか	2
7	教職員に対する評価方法、評価スケジュールおよび評価の考え方等が書類として存在するか	2

## ①成果と課題

一部の文書化作業が遅れている。

## ②今後の改善方策

文書化することにより課題等も明らかにされると思うので、順次文書化を進めていきたい。

**(10) 社会貢献・地域貢献**

評価基準：適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	R02
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。	3

## ①成果と課題

公共職業訓練等の受託は積極的に進めているが、地域に対する公開講座等は遅れている。

## ②今後の改善方策

コロナ状況に注意を払いながら、地域に対する公開講座を進めていく中で、学生の参加も図り、学生ボランティア活動等を奨励していきたい。

**(11) 国際交流（必要に応じて）**

評価基準：適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	R02
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行い、在籍管理等において適切な手続きがとられているか	3
2	学習成果が国内外で評価される取組みを行っているか	3

## ①成果と課題

就職先や日本語学校との連携の中で、適切な体制を構築しつつある。

## ②今後の改善方策

次年度は1、2年生ともに留学生が在学するので、生活、学習、日本語学習、就職等、多方面において十分なフォローをしていきたい。

松本医療福祉専門学校  
 学校長 清水 強

評価項目	自己評価：4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切		適正度 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切	
	2020年度（令和2年度） 自己評価		学校関係者評価結果	
	自己評価	概要	適正度	ご意見
1 教育理念目標	3	現状 本年度において今までの学校理念、目標等について職員全員で見直しを行い、内容を改善し全員でその結果を共有した。シラバス等の文書整備情報公開は進んでいる。	3	改善の有無に関わらず、毎年の定期的な見直し検討が重要と考えます。
		改善策 改善内容は年初に配布する「学生の手引き」で学生周知を図ること、及び入学式の日在学校で行う新入生保護者説明会で周知を図っていく。また、在校生の保護者等には文書等で周知を図っていきたい。		
2 学校運営	2	現状 教育活動に関する情報公開はホームページを通じて適正に行われているが、運営方針、運営結果等における文書化は不十分である。	2	ロードマップ等による計画的な文書化作業をご検討ください。
		改善策 気がついた点、身近な点から順次文書化を図っていく。		
3 教育活動	3	現状 カリキュラムについては、定期的に検討を重ね成果も出ているが、本年度はコロナの影響で十分な実習授業が行えなかった。次年度でその不足を補う対策が必要である。	3	コロナ渦での宅習対応、大変ご苦労様です。パンデミックな状況においても、適切に対応されていると評価します。
		改善策 本年はコロナにより一部現場実習が行えず、校内演習で代替えた。初めてのケースであったので、十分な成果を上げたとは言えない。本年度の不足点を検討し、通常カリキュラムを補っていく。		
4 学修成果	3	現状 両学科とも、高資格の受験学習を通じて、学生の学習力の向上、学習習慣の育成を図ることができている。実習系のカリキュラムについてはコロナ渦でも成果を上げることができると内容等の検討が必要である。不可抗力ではあったが、医療秘書学科2年生について全員に診療報酬請求事務能力試験の受験機会を与えることができなかった点が残念であった。	3	知識や資格も必要ですが、コミュニケーション力や心身の健康も必要な要素として検討していただければと思います。
		改善策 コロナ渦にあっても、最大限の効果を上げることができる、高資格学習、実習授業の方法を構築していく。		

評価項目	自己評価：4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切		適正度 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切	
	2020年度 自己評価		学校関係者評価結果	
	自己評価	概要	適正度	ご意見
5 学生支援	3	現状	3	個々の状況に応じた心のケアに努められていると思います。
		改善策		
6 教育環境	2	現状	3	コロナ渦等の状況も考慮して危機管理に留意した環境にも配慮してもらえればと思います。
		改善策		
7 学生の受入れ募集	3	現状	3	ネット環境を上手く利用した募集活動を検討してみたいかかでしょうか。
		改善策		
8 財務	2	現状	2	学生の募集に尽きると思います。
		改善策		
9 法令等の遵守	2	現状	2	気が付いた点から一つずつ改善していただければと思います。
		改善策		
10 社会貢献地域貢献	3	現状	3	コロナ渦で色々制約もあると思いますが、地域貢献活動は少子高齢化の時代にとっても有用なものと考えます。
		改善策		
11 国際交流	3	現状	3	留学生の現場定着についても、卒業後のフォローが必要と考えます。
		改善策		

学校関係者評価委員会 令和3年3月25日 16:00～ 実施

評価委員	本林 久美	松塩筑木曾老人福祉施設組合	オブザーバー（学校職員）	青山 織人	理事長
	相河 光伸	社会福祉法人雄仁会		清水 強	学校長
	北原 宏樹	医療法人 和心会		百瀬 由久	副校長
	岡江 真一	信州大学医学部付属病院			